

福祉委員会活動 ハンドブック



住民交流から始まる支え合い活動

もくじ

| | | | |
|------|----------------|-------|------|
| はじめに | 福祉委員会って何？ | | P 2 |
| 第1話 | やりたいことをみんなと一緒に | | P 3 |
| 第2話 | 身近な人にお声かけを！ | | P 4 |
| 第3話 | 行ってみよう！ふれあいサロン | | P 5 |
| 第4話 | 「気になる」を大切に | | P 6 |
| 第5話 | 一人で悩まず、つなげよう | | P 7 |
| 第6話 | わたしたちにできること | | P 8 |
| 第7話 | 応援者を増やそう | | P 9 |
| 資料編 | 相談先一覧 | | P 10 |

はじめに 福祉委員会って何？

みんなが楽しいことを一緒に楽しむ
【仲間づくり】

みんなが知りたいことを一緒に知る
【共有する】

困っていること・気になることをみんなに伝える
【つなげる】

一人では難しいことをみんなで手伝う
【支えあう】

これらのことができる地域をみんなで作っていく
【ひろげる】

ことを企画・推進していただいている地域のボランティアの皆さんです。



福祉委員会を発足した代表の
八子さんの様子を見ていきながら
福祉委員会活動を知っていきましょう

第1話 やりたいことをみんなと一緒に

福祉委員会で活動をはじめることになった代表の八子さん。
まず交流活動(ふれあいサロン)って何をすればいいのか悩んでいました。



みんなの楽しいこと、興味のあることって何だろう

福祉委員会活動は、「～でないといけない」という活動ではありません。
まずは、福祉委員である皆さん自身が楽しいこと、
やってみたいことを皆さんで話し合しましょう。

みんなとお茶を飲んで
話せるような所がいいな

健康に不安だから
体操ができる場が
あればいいな



注目!

一人が関心のあることは、皆さんも関心のあることかもしれません。
それぞれの想いを聞きながら計画していきましょう。

開催するために決めること

内容が決まれば、次は具体的にどのように進めていくのか基本的な考え方
(参加者の範囲・開催日・内容・開催費用・場所・役割分担など)を決めていきましょう。

たくさん
来てほしいけど
集会所の広さにも
限界があるなあ

参加費は
一人100円は
いた方がいいかな？

やりたいことがあるけど
代表にまかせっきりに
なるなあ

具体的に考えていくと、様々な葛藤が生じるかもしれません。
優先順位をみなさんと話し合いながら負担にならないことが継続の秘訣です。

第2話 身近な人にお声かけを!

ふれあいサロンの内容は決まりましたが、どうすれば地域住民の方に参加してもらえるか、八子さんは悩んでいました。



いろいろな人にきてほしいけど、どんな方法があるのかな

「知っている人がいるから行ってみようかな」と思うことはありませんか。まずは皆さんのお知り合いの方やご近所の方に声をかけることからはじめてみましょう。

来週の火曜に
サロンがあるから
参加してみない?



行ってみようかな。
お隣さんにも
声かけよう



今度サロンがある
み方いなんだけど
一緒に行かへん?



あなたがいるなら
行ってみよう
かな!



注目!

「中々参加してくれない」と思われることもあるかもしれませんが、そのようなときは、「いつでも待っているよ」と想いを伝えるだけでも大切なことです。

どんなお知らせの方法があるか整理をしてみましょう

どこで生活に関する情報を手に入れていますか。

チラシ? 回覧板? 掲示板? ...より多くの人に情報が届く方法を考えましょう。

簡単なチラシなら
私でも作れるかも

自治会だよりは読むなあ。
そこに案内はできそう?

今度老人クラブで
集まるから
チラシを配ろうか!



家を出る時に
よく掲示板は
見るよね

地域の団体にも協力をえながら、それぞれの広報媒体を活用して案内していきましょう。

第3話 行ってみよう! ふれあいサロン

八子さんたちの福祉委員会では、集会所で月1回
誰もが集えるふれあいサロンを開催することになりました。



みんなとおしゃべりできるのって楽しいな



日頃談笑する
場がないから
楽しい

ここに来ると
安心する!

13:00 集合・準備

準備をしていると住民の
皆さんも来られ一緒に
手伝ってくれています。

13:30 サロンスタート

紅茶やコーヒーを飲みながら
談笑。住民の方がお菓子を
持って来られました。

14:00 趣味の披露

趣味がギターの方の演奏に
合わせて懐かしい曲を
みんなで唄われました。

15:30 片付け・解散

注目!

孤独になりがちな人がサロンに集うことによって、地域とのつながりを
保ち、自立への意欲、生きがいを高めることができます。

あんなサロン、こんなサロン

親子と一緒に
参加できる
子育てサロン



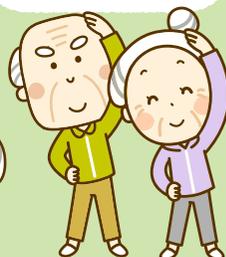
手芸が趣味の
住民が講師となって
手芸体験



みんなでご飯を
食べるサロン



健康づくりの
体操



すべての住民を対象にするものや対象を限定するもの、
住民の方の趣味や特技を活かした内容などサロン活動は十人十色です。

第4話 「気になる」を大切に

八子さんは、前から気になっていたことがありました。サロンをはじめた頃から参加していた鳩子さんの様子を最近見かけませんでした。



最近様子を見ないけど、訪ねてみようかな

「お元気でしたか？」と声をかけることでその方の安心にもつながります。また話を聞く中で、実は何かで困られていることがわかるかもしれません。

最近、お顔
見れてなかったけど
お元気でしたか



最近、足が痛くて
歩くのもしんどく
なってきたの



注目!

話しかけると「私にかまわないで！」と関わりを拒絶される方もおられます。そのような時は、少し距離を置きながらも道端での挨拶や、家の外観からわかる異変を気にかけてみましょう。

「気になる」ことをみんなで共有しましょう

実は他の福祉委員も気になっていたことかもしれません。サロン後のふりかえりや定例会を設けることで情報共有がしやすくなります。

確か息子さんが遠方に
住んでいると聞いたわ

少し訪問したほうが
いいんじゃないかな

最近老人クラブにも
顔を出さないな



この前、道で
姿を見かけたけど、
しんどそうだった

第5話 一人で悩まず、つなげよう

八子さんは鳩子さんの様々な悩みを聞きましたが、どう対応したらいいかわかりませんでした。



しんどいのはわかったけど…誰に言えばいいの？

解決策がわからなくても「悩んでいる」という事を伝えてもらうことが解決の一步にもなります。

一人で抱え込まず、みんなで話し合ってみましょう。

地域の民生委員さんや社協に聞いてみようか

高齢者の相談なら地域包括支援センターがあるな

一度、訪問してみますね



社協職員



注目!

支援が必要な方や気になる方の異変を少しでも感じた時に社協や行政等に相談することで、孤立死や不幸な事故の発生を未然に防ぐことができます。

個人情報の取扱いについて

- 活動に必要な個人の情報を根ほり葉ほり聞き出すことは避け、必要最小限度のことを聞くにとどめ、活動上知り得た個人の情報は、相手の困っている問題を解決することのみに活用し、他の目的に使わないようにしましょう。
- 相手の困っている問題を解決するため、他の関係者に情報を提供する場合は、事前に本人(又は家族)から承諾(了解)をとっておきましょう。
- プライバシーの保護について守ることは大切ですが、明らかにその人の身体が安全が損なわれるようなとき、あるいは客観的にその恐れがあると判断されたときは、生命や身体を守ることを優先されます。

第6話 わたしたちにできること

その後、鳩子さんはヘルパーを利用されることになり、八子さんは安心しました。しかし集会所まで歩いて行くことが難しい鳩子さんは、みんなと話せず寂しそうです。



私たちにできることって何だろう

サービスや制度など専門機関でないと対応できないことがあります。一方で、地域住民だからこそできることがあります。どんなことができるか考えてみませんか。



注目!

ご本人の気持ちと福祉委員の気持ちを照らし合わせながら、無理なく進めていくことが活動の基本です。

「何ができるかわからないなあ」と思ったら

「何かできればと思うけど、福祉委員としてどこまで手助けをしたらいいのか」など思うことがあるかもしれません。そのような時は、社会福祉協議会にご連絡ください。

一緒にできることを考えていきましょう



第7話 応援者を増やそう

八子さんはサロンなど交流活動の参加者の減少や福祉委員の高齢化にともない、これからの活動に不安を感じていました。



活動は続けていきたいけど、自分たちだけでは大変になってきたな

福祉委員でなくても、地域の中には「これならできるよ」という方もいるかもしれません。福祉委員会の応援者を見つけ、住民みんなで活動し、支えあえる地域づくりが大切です。

平日は仕事をしているけど、土日なら協力できますよ



写真撮影が趣味なので、活動写真を撮りますよ



行事には参加できないけど、チラシの作成ならできます



注目!

「福祉委員会の対象は高齢者だけ？」など福祉委員会に対して様々なイメージを持たれることもあります。

福祉委員会活動を知ってもらうことが応援者の増加にもつながります。

互いの強みを活かした協力

自治会

住民による自治活動の基盤組織として、自治会員相互の親睦・交流を深めるためのイベントや美化活動、防災・防犯活動等を行っています。また地域の身近な情報や、行政などからの情報を回覧板や掲示版でお知らせをしています。

民生委員・児童委員

民生委員は、民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱され児童福祉法に基づく児童委員も兼ねています。身近な相談相手として専門機関の紹介、必要なサービスの紹介や連絡などのつなぎ役を担っています。

上記以外にも老人クラブや子ども会など地域団体との協力関係は大切です。また市内には様々な分野のボランティア団体も多く活動されています。それぞれの持つ強み・魅力を合わせることで活動の幅も広がります。

資料編 相談先一覧

福祉委員会活動のこと、活動を通じて気になることがあれば

八幡市社会福祉協議会 983-4450

| どんなこと | 機関・相談先 | | 電話番号 |
|---|---------------------|--------------------|-----------------|
| 高齢者に関する 総合相談窓口 (介護サービスの利用、 認知症に関すること、 高齢者の生活に 関すること) | 男山中学 校区 | 地域包括支援センター 梨の里 | 982-0125 |
| | 男山第二中学 校区 | 地域包括支援センター やまばと | 982-2000 |
| | 男山第三中学 校区 | 地域包括支援センター 美杉会 | 971-3576 |
| | 男山東中学 校区 | 地域包括支援センター 有智の郷 | 972-1000 |
| | 八幡市高齢介護課 | | 983-5471 |
| 障がい者に関すること | 八幡市障がい福祉課 | | 983-2129 |
| 子育てに関すること | 子育て支援課 (家庭児童相談室) | | 983-3148 |
| 消費生活に関する トラブルのこと | 生活情報センター | | 983-8400 |
| どこに相談すればいいか わからないこと | ふれあい福祉センター | | 983-2000 |

社会福祉協議会について

社会福祉協議会(社協)は、地域福祉の推進役として住民の皆さんと一緒に、「ふだんの暮らしをしあわせ」にしていく取り組みをすすめています。そして身近な地域で支え合いの輪を広げる福祉委員会活動を応援・支援することも社協の役割でもあります。

○話し合いの場・情報共有の場をお手伝い

地域内での話し合う場づくりの手伝いや、他地域との情報交換の場の機会を設けています。

○地域での勉強会や講演の講師紹介等の情報提供

「認知症」や「車いす体験」など福祉に関する講座の企画、講師派遣や専門機関・ボランティア団体の紹介のお手伝いをします。



福祉委員会の魅力、 大切にしていることは 何ですか？

福祉委員会の魅力

- ・参加してくれた人の笑顔が一番！
- ・地域の知り合いが増えた
- ・福祉委員自身も楽しくなる
- ・人の役に立てる

大切にしていること

- ・無理せずできることをする！
- ・声かけをする！
- ・福祉委員同士の交流
- ・気軽に参加できる雰囲気づくり



社会福祉法人
八幡市社会福祉協議会

☎ 075-983-4450

📠 075-983-5798

